

学位論文概要「環境情報からのメッセージ」(環境イノベーションマネジメント専攻)

名前	指導教員	論題	論文要約
苑白露	遠藤 聡	産業集積の再編段階における企業戦略の多様性に関する研究—中国浙江省・温州市における製靴産業を事例として	日用品消費財の一大生産地としている中国浙江省温州市は近コストの上昇問題に直面し、温州の製靴大手企業は生産拠点を移転した。産業集積の再編を余儀なくされている。本研究は、産業集積地の危機から再編を迎える段階で、温州の製靴産業集積における中小企業が産業集積に依存せず、内製化の企業戦略を採用した一方で、関連企業との連携することによる共同成長戦略を採用することによって成功した事例の解明を目的としている。
陳新	周佐喜和	中国中小企業の成長戦略におけるネットワーキング戦略に関する研究	「小企業」や「微型企業」が多数であり、ハイテク産業よりローテク産業に所属する中小企業が多い中国では、中小企業起業活動が活発的である一方、起業失敗率も高い。その中、中小企業の成長にとって、企業者が自身の持っているネットワークから資源や知識を手に入れるネットワーキング戦略は中小企業成功のキーだと思われる。本研究は、ケース・スタディーの研究方法を用いて、3つのケースを分析した結果、中国における中小企業のネットワーキング戦略の特徴をまとめられた。
伊藤亮太	本藤祐樹	木質バイオマスエネルギー利用システムの環境・社会導入効果	本研究の目的は、木質バイオマス熱利用システムの環境・社会経済効果をライフサイクル全体で明らかにすることである。本研究では、未利用材由来の木質ペレット焚吸収式冷温水機を利用した、業務建物への冷暖房による効果を既存のLPG利用システムと比較して推計する。CO2排出については、ペレット製造時の排出が増加するものの、全体としては削減される。雇用機会創出については、LPG関連の国外雇用が減少する一方で、木質燃料関連の国内雇用が増加する。
中川日菜子	鳴海大典	中山間地域の公共交通システムのあり方について	本研究では、中山間地域の交通や生活の問題点及び移動実態の把握、交通弱者の定量化及びニーズの把握を行った。結果、中山間地域の現状での生活や交通に関する問題点や移動実態が明らかとなった。また、先述の結果を住民に把握させた上でのアンケート調査によって、交通弱者の定量化及び交通弱者の公共交通に対するニーズを明らかにした。今後の研究課題は、バスの運行内容改善後の住民評価やライドシェアや自動運転などの新技術導入の検討である。
弘中雄介	本藤祐樹	日常の中の自然な働きかけによる環境配慮行動の促進-心理的近接性を高める介入実験-	本研究は、PVシステムの存在を利用した環境配慮行動促進策の提案を目的としている。共分散構造分析の結果は、VBN(Value-Belief-Norm)モデルにPVシステムへの心理的近接性(好意的な気持ち)を加えた心理モデルは一定の説明力を持つことを示している。また、PVシステムの画像が印刷されたブックカバーと、PVシステムに意識を向けさせる映像コンテンツを用いる2種類の介入実験の結果から、心理的近接性向上が環境配慮行動を促進させる可能性が示唆される。

堀裕貴	鳴海大典	中山間地における地域コンテキストの解釈と持続可能な将来シナリオに関する検討	中山間地域を対象として、文化・社会的な地域コンテキストの解釈や住民アンケートによる住環境評価を行った上で、CO2 評価モデルを作成した。さらに、地域の需要効率から産業構造まで社会システム全体を俯瞰的に捉え、地域の将来シナリオを複数案作成するとともに、各シナリオの低炭素化に与える影響を定量的に評価することで、地域の歴史的な変化や住民意向に沿った持続可能な将来シナリオのあり方を検討した。
森健太郎	本藤祐樹	ライフサイクル思考と環境配慮行動の関係性を探る —「つながり感」の測定尺度の開発—	本研究の目的は、ライフサイクル思考の鍵となる「つながり感」の測定尺度を開発し、ライフサイクル思考と環境配慮行動の関係性を検証することである。高校生を対象とした質問紙調査及び、項目分析より信頼性と妥当性のある尺度を作成した。また、共分散構造分析より「つながり感」から「CO ₂ 削減行動意図」に至る心理メカニズムを明らかにしたことから、ライフサイクル思考は環境配慮行動を促進させる効果があると示唆された。
柞木元太	宮崎隆	ベルクソンにおける自由の発展—二元説と自由の問題—	本論はベルクソン哲学における自由行為に関しての一つの見通しを提示する。純粹持続・純粹空間の二元説に起因する、心身結合と自由行為に関する二つの問題に対して、本論は第二の主著『物質と記憶』で示された純粹記憶力・純粹知覚の二元説から解答を引き出す。純粹記憶力・純粹知覚の二元の混合と緊張・弛緩の度合いという枠組みが心身結合の成立と自由行為の強度の変化とを可能にするだろう。